



あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行
2024年1月4日
(第34号)

1月

明けまして
おめでとう
ございます

「所変われば品変わる!?お雑煮」

所変われば品変わる。その土地にまつて
風俗や習慣、言葉、物の名称までもが違つ
ことを意味しています。お正月などに多くの
家庭で食されている「お雑煮」もその一つで
す。

(農林水産省HPより)

一般的に餅の入った汁物が雑煮と呼ばれ、主
に正月などハレの日に食べられます。

よへく知られているものだけでも、その種類
は100を超えるほど多様。作り方や具材の
違いなど、細かな特徴にまで着目すると、
さらに種類は増え、集落の数だけ雑煮の
種類があるといわれています。

特徴的な地域を紹介すると、北海道は、
明治時代に開拓使が置かれ、全国から人々が

集まった影響で多種多様な雑煮が食べられて
います。また、鹿児島の一部では、雑煮に入れ
る餅の形については角と丸が混在していま
す。なお、沖縄では古来から食べる習慣がな
かったとか。

各地のお雑煮は角餅か丸餅か、餅を焼くか焼
かないか、だし汁は、かつお節か昆布か鶏ガラ
か、調味料は味噌か醤油か…などに加え、
縁起が良いとして入る食材もありますので
本当に多種多様です。

所変われば品変わる…。何気なく食べてい
るいつものお雑煮も、地域や集落、家によつて
異なるようですね。あなたの家のお雑煮はどん
なお雑煮ですか？



お知らせ



☆蔵書点検のため休館いたします
2月5日(月)～8日(木)
蔵書点検中は、通常業務は行いません。
ただし、返却△(返却ボックスのみ使用可)
予約△(蔵書検索システムからの予約のみ可)
※予約本は9日から順次手続きいたします。

☆人権講演会
「ヤングケアラー物語」
～元当事者と考えるこれからの地域社会づくり～
2月3日(土) 10:00～11:30
朝日村役場 大会議室にて開催
講師は「48歳で認知症になった母」の著者、美齊津康弘さんです!



図書館の思い出 百瀬 司郎

「本を読んで初めて泣いた日」
あれはシロウ少年が小学
五年の夏休みのこと、屋下
り明るい光の射す自宅で畳
に寝転がって一人本を読んで
いた。本は「フランダースの
犬」学校の図書館から借りて
きた。シロウ君はよく図書館
に通う子だった。その本は初
めからシロウ君を夢中にさせ
た。貧しい絵の好きな少年
口と荷車引き犬のイラスト
の物語である。何で人々は
こんなにいじめるんだ?と腹
立たしく思いながら読み進め

る。祖父が亡くなり一人になつ
たネロに世間の風は厳しく、
最後の頼みの絵のコンクールに
も落選。最終章のネロとパト
ラッシュの最期の場面では自然
と涙があふれてきた。初めての
ことにシロウ君は驚いた。涙
は止めどなくほおを伝つて本に
落ちた…。
あれから六十年が経つ。様々
な本に出合った。今も私の寢床
の枕元には必ず本がある。と
はいえもう難しい本ではなく
藤沢周平とかゴルゴも交じつ
ている。雑多なのだ。本がある
と妙に落ち着くのである。

新春特別企画「開運?おみくじ」

図書館に来たらおみくじを引こう! おみくじに書いてある「開運?アイテム」
を手に入れるとさらにいいことがある…かも♪



今年最初の運だめし吉と出るか凶と出るか… 1/4～2/18まで



「女給の社会史」
著者: 篠原昌人
出版: 芙蓉書房出版

時代の「尖端」をいく女給たち
のたくましい生き様を描いた
ノンフィクション
明治大正・昭和の時代、
繁華街のカフェを盛り上げ
た「女給」はどのような生
れ、どう拵がり、どうして消
えていったのか。様々なエピソードで綴る都市風俗史。